

豆田町並み通信

第43号

発行者
豆田町伝
建保存会
24年7月

豆田町伝建保存会 第八回通常総会開催！

六月五日（火）、平成二十四年度の通常総会が若の屋にて開催され、百九十三名の会員中、出席会員七十二名、委任出席会員七十二名で行なわれました。

波多野会長代行が、「皆様のご協力により建物や塀などの修理・修景は五十件に達しました。今後も修理・修景事業を着実に進めてゆきたいので、一層のご協力をお願いします」と挨拶を行いました。



本年度の運動方針について協議した総会



挨拶する石松副市長

秋山 重雄
城町一丁目自治会長



挨拶する波多野副会長と役員

続いて原田啓介日田市長の代理として来席された石松雅彰副市長は「豆田の町並みは、市民共有の財産であり、次世代へ伝えていくことは私達の重要な責務と考え、日田市としても引き続き支援して行く所存であります」と述べ、「旧古賀医院跡地の施設の活用については、保存会を中心とした運営をお願いしたいと考えておりますので、皆様のご理解と協力をお願いしたい」と挨拶されました。

この後議事に入り、二十四年度に予定されている伝建事業四件、街環事業二件の建物修理を承認し、自治会長変更に伴う理事の変更を承認しました。理事の変更は以下の通りです。

豆田地区振興協議会会長

橋本 成人

城町一丁目自治会長

秋山 重雄

集中豪雨・豆田を襲う！

七月三日、早朝より降り出した雨は総量で一六〇mmを超え、花月川が氾濫し、豆田地区に甚大な被害を与えました。

港町では膝上までの水が流れ込み、至る所で床上・床下浸水の被害に遭いました。

また、夕田橋が流木で堰き止められ、濁流が上手町・丸山町側に流れ込み、丸山町では背丈ほどの濁流が押し寄せ、多くの家屋が被害に遭いました。

避難が早かったため人的被害はなかったものの、被害に遭った丸山町の方は「突然の増水で年寄を避難させるのに精一杯で、



橋げたを超え増水した花月川



大雨で表通り一帯が浸水した港町



山積みされた家財道具(丸山町)



壊された散歩道路(御幸橋下流)

今回の水害で被害に遭われた方に、心からお見舞い申し上げます。

家財道具は殆ど水に浸かって使い物にならない」と肩を落としています。ある長老の方は「昭和二十八年の洪水の時より今回のほう水量が多かったのではないか」と語っていました。七月六日からはボランティアも駆けつけ、復旧にむけた活動が始まっています。

祇園準備進む！

七月二十一日・二十二日の祇園本番にむけて、豆田の山元では六月末から本格的な作業が行われています。

今年は一番山・中城町、二番山・豆田上町、三番山・港町、四番山・豆田下町の順番になっており、土曜日の晩山は御幸橋集合の後信用金庫豆田支店前、旧酒井外科前で四町競演が行われ、日曜日の晩山は一新橋への駆上がりが行われる事になっており、一番の見所となります。

各町の山元では、「豆田は豪雨災害に遭ったが、山鉾の元氣な姿を見せる事で被害に遭われた方を勇気付けたい」また、「十九日に行われる『駅前集団顔見世』には、四時二〇分頃より各山が動き出す予定であり多くの声援をお願いしたい」と語っていました



パイパイ染めを行う中城町

平成二四年

山鉾筆題は以下の通り

中城町・鬼一法眼菊畑の場
豆田上町・信貴山城の戦
港町・太平記多々良浜の合戦
豆田下町・八陣守護本城



棒鼻洗い行事で安全祈願の港町



テント建ての作業を行う豆田上町



小野川のお汐井採り行事で
祇園の安全を祈願する豆田下町

城内祇園祭のお知らせ

日時 7月21日(土)
17時~21時

場所 上城内町 八阪神社境内
生ビール、焼酎
おでん・からあげ・おにぎり
厄除けパイパイ・あやめ

主催：上城内町自治会

上城内「子供みこし」が二十二日(日)午前八時より町内を廻ります。

*七月四日開催予定の旧古賀医院の整備計画及び平成二四年度の修理物件の内容を審議する「日田市町並み保存審議会」は豪雨災害のため延期になりました。

福岡県八女市で 全国大会開催！

五月十六日・十七日、全国伝建地区協議会の全国大会が八女市で行われ、日田市より二十一名が参加しました。

大会では保存会の活性化の課題や建物修理問題、空家対策について、全国から参加した百五十名の皆さんと意見を交換し合いました。

現地研修では、八女の「のろ」法人「町屋再生応援団」が出資再生し、一般に貸し出す事で町の活性化に成功している丸林本家の活用事例などについて説明を受けました。

現在八女市では道路の美化化にも取り組んでおり、町並みの保存継承が進められていると感じました。



八女福島の町並みを視察する参加者